

広 報

# のぼべつ

●No. 426 ●昭和61年4月1日発行



春、雪解け水をあつめて、一段と水かさを増した登別川。この川沿い、中登別町の登別植木造園では、赤、紫の色あざやかなブーゲンビリア、淡いピンクの蘭などの出荷が始まっています。

湿度が高く、温いビニールハウスの中で丹念に育てられた花や苗、春ともなると花も生き生きとしてきます。

4.1



市政執行方針を発表する中浜市長（3月4日、昭和61年第1回定例市議会本会議で）

## 財政計画策定の意義は極めて大

三月三日から開会された、第一回定例市議会で中浜市長は、昭和六十一年度の市政運営の基本方針と施策の大要を発表しました。市政執行方針の概要は次のとおりです。

昭和五十四年、私が市長に就任してから、すでに七年経過しました。

度」。昭和五十九年度は「行動する年」。昭和六十年度は「前進をする年」と位置付けられ、行政を行つてきました。

この結果、当市が懸案としていた大学の誘致決定をはじめ、高速自動車道の開通、公共下水道の着工、川上総合公園の開園、国道三十六号線海岸バイパスの着工、新登別大橋の建設、富岡土地区画整理事業、市民会館、鷺別地区会同庁舎、鉄南ふれあいセンター、カルルス・サン・スポーツランドなど、街づくりの其盤となる大型プロジェクトを次々と実現することができ、八万都市建設に向つて、確実に前進する見通しを得ました。

長期財政計画を公表しました。  
計画に沿って毎年度の市債  
借入額を、約十億円前後に抑  
え込み、債務償還を図りなが  
ら政策を進めた結果、公債費  
比率は別表1のとおり推移し、  
各年度とも計画を下回ること  
ができました。

また、新中・長期財政計画  
と第二期市政担当の三ヵ年を  
対比すると公債費比率は別表  
2のとおり推移し、計画を下  
回る見込みです。

厳しい財政環境の中で、い  
ろいろな政策を推進できまし  
たのも、中・長期財政計画及  
び新中・長期財政計画を指針  
として、長期的視野に立つた  
健全財政運営の精神を貫いて  
きたためであり、財政計画策

**型予算を編成**

昭和六十一年度予算編成にあたっては、「健全財政堅持」と「効率的事業投資」を基本としました。後年度に影響を及ぼす一般会計では、補助金を多く、借入金を少なくの方針をとり、短期間で処理ができない、特定財源で処理をする特別会計での事業の拡大に配慮しました。

景気浮揚対策は、緊急課題でありますので、公共事業の拡大には、最大の腐心をしました。

一般会計では、行政改革の効果が現われ、経常経費で年

富岸土地区画整理事業の事業実施期間を、四カ年から二年半年に短縮し、事業の前倒しをさせることにしました。また公共下水道も、対前年比六十八%増と拡大をし、よいよ、本年度から、終点まで処理場の設計に入ることになります。

別表2 年度別  
新中・

年度	公債費比
58	16.7%
59	15.9%
60	16.7%

算を編成しました。  
かなければなりません。  
経済の活性化を目的と  
公共事業を拡大し、積  
る「ふるさと登別」の  
ために、この難局に大胆  
もって挑戦し、豊かで  
元千市民の期待と信赖に  
協力、ご支援をお願い  
頗注します。

、施策の大要は次のと  
くです。市民の皆さまの絶  
度の目標を「活性の年」  
づけ、目的達成のため

公共事業を拡大し、積極型予算を編成

組んでる、地熱開発、松葉  
金属工業などの企業誘致、登  
別水族館、新登別プラザ、登  
別ゴルフ場など、市民の誇り  
となる新プロジェクトは、市  
が過去に経験したことのない  
大型のものであり、この実現  
に向って全力を注ぎます。

たと思うのです。  
次に行政改革についてです。  
昭和五十五年度以降、国に  
先がけ、行財政の健全化を確  
立するため、自主的に、大部  
・大課制機構改革の実施をは  
じめ、職員定数の削減、職員  
の退職手当、期末・勤勉手当  
などの給与の抑制、二度にわ  
たる補助金・交付金の見直し、  
市単独事業の見直し、日常經  
費の節減など広範な分野を対  
象とした行政経費の徹底した  
節減、合理化に努め、常に行  
政改革に取り組んできました。  
引き続き、自主的な行政改

革に取り組むため、府内に登別市行政改革推進本部を設け、更に、登別市行政改革懇談会を設置しました。概ね、昭和六十五年を目途とした「登別市における行政改革の方針について」広範な分野の方々に検討議をいただき、その結果をふまえて行政改革を推進することといたします。

登別市総合基本構想、基本計画の見直しについては、二十一世紀に向けた、街づくりの指針を明らかにするため、本年度中に、「新総合計画」を策定したいと考えています。

		別表1 年度別公債費比率と 中・長期財政計画対比	
	計画対比	年度	公債費比率
	0.9%減	55	17.1%
	0.3%減	56	16.9%
達	同率	57	16.3%

**難局に大胆・勇気をもつて挑戦**

たと思うものです

革に取り組むため、府内に登

年度	公債費比率	計画対比
58	16.7%	0.9%減
59	15.9%	0.3%減
60	16.7%是込	同率

年度	公債費比率	計画対比
55	17.1%	0.3%減
56	16.9%	1.7%減
57	16.3%	1.4%減

【3】

豊かで、活力ある「ふるさと登別」の礎を築くため

# 「活性の年」と位置付

61年度市長市政報



建設中の新登別大橋

## 「観光クリエーション都市」を宣言

美しい自然と無限の温泉に恵まれた登別市は、北海道観光の宝です。

基幹交通網の整備をはじめ、スポーツ・レクリエーション施設が、着実に整備充実され、大型プロジェクトも緒につきました。この機会に、「生活を楽しめ、心身を健やかに明日への活力を求める、世界の人々が合い集う街」理想郷、登別市を目指して、「国際観光

レクリエーション都市」を宣言することにしました。

多目的集会施設建設のための、調査設計をします。国際観光地、登別にふさわしい施設にしたいと考えています。

カルヌスの屋外スポーツ施設、サン・スポーツランドがオープンし、新しいゴルフ場も、地元有志により着工されました。

企業誘致については、新登別プラザも本年早々に工事着手の見込みであり、松菱金属工業登別工場も、一两年中に建設という明るい見通しを得ています。

現在、総合解析中ですが、本年度も、引き続き調査を進める予定であり、その結果に期待するものです。

企業誘致については、新登別プラザも本年早々に工事着手の見込みであり、松菱金属工業登別工場も、一两年中に建設という明るい見通しを得ています。

新登別大橋は、秋に完成開通します。国道と鉄北市街地を結ぶ、国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、国道バイパス道路新設と並行して工事が施工されることになりました。

教育施設関係では、幌別東小学校屋体の改築、幌別中学校、幌別東小学校の大規模改修、幌小言語治療教室の増設などを行います。

芸能を招き、広く市民に鑑賞

所を建設します。

西富岸川及び徳消川の改修を引き続き実施し、ヤンケシ川改修事業、若山学園橋、富岸学園橋を新規着工します。

新川地区に二カ年計画で隣公園を建設します。

若草中央公園が本年度オーブンし、若草地区に児童公園を新設します。

西富岸川沿いの遊歩道、西富岸川河川敷に二カ所新設します。

川上総合公園は、遊歩路、東屋、植樹などを整備します。

健康づくりの事業を行います。

豊別地区に老人憩の家「カ

リオニア・タウン事業」に取り組みます。本年度は、健康相談、短期間ドックなど、

定期的に事業を行います。

## 都市環境整備

### 市道舗装・排水路を重点的に整備

富岸土地区画整理事業を開始します。事業の促進により約五十戸、三千人の新しい市街地が形成され、「八万都市構想」実現の一大要因になります。

西富岸川及び徳消川の改修を引き続き実施し、ヤンケシ川改修事業、若山学園橋、富岸学園橋を新規着工します。

新川地区に二カ年計画で隣公園を建設します。

若草中央公園が本年度オーブンし、若草地区に児童公園を新設します。

川上総合公園は、遊歩路、東屋、植樹などを整備します。

健康づくりの事業を行います。

## 地場産業の振興と活性化

### 登別地方高等職業訓練校を増築

農業基盤確立のため、道営農免農道の整備を進めるとともに、公社畜産基地建設の促進を図ります。

## 人間性豊かな、たくましい人づくり

### 教育と福祉

私は、教育の基本目標を、「人間性豊かな、たくましい人づくり」と定め、強調してきました。

昭和五十九年度、六十年度と、二ヵ年にわたって、豊かな心を育てる施策推進「モデル市」実践の文部省指定を受け、青少年が健やかに成長することを願つて運動を開催してきましたが、大きな成果を上げることができました。

この実績をふまえて、全般的、永続的な取り組みを計画し、定着化を図ります。

学校都市構想は、昭和五

年、新しく工業技術系の日本工学院大学と、文化系の明星大

門学校の開校、昭和五十九年には、明星大学の誘致が決定

し、明るい展望が開かれています。

十七年に日本工学院北海道専門学校の開校、昭和五十九年には、明星大学の誘致が決定

し、明るい展望が開かれています。

## 新登別大橋は、秋に完成・開通

### 国・道関係の事業

新登別大橋は、秋に完成開通します。

国道と鉄北市街地を結ぶ、

国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、

国道バイパス道路新設と並行して工事が施工されることに

なりました。

新登別大橋は本年秋に完成、開通することになりました。

美園町から新生町に至る、

国道と鉄北市街地を結ぶ、

国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、

国道バイパス道路新設と並行して工事が施工されることに

なりました。

新登別大橋は本年秋に完成、開通することになりました。

美園町から新生町に至る、

国道と鉄北市街地を結ぶ、

国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、

国道バイパス道路新設と並行して工事が施工されることに

なりました。

新登別大橋は本年秋に完成、開通することになりました。

美園町から新生町に至る、

国道と鉄北市街地を結ぶ、

国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、

国道と鉄北市街地を結ぶ、

国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、

国道と鉄北市街地を結ぶ、

国鉄横断立体道路が、北海道の事業として新規着工となり、

# 事業の拡大に重点

## 事業費は前年度比約40%の増加

から開会された第1回定例市議会で61年が審議されました。  
各特別・事業会計を合わせた8会計17億3,000万円で、60年度当初予算と4.9%の伸び。

率削減や不況による市税などの収入の厳しい財政状況の中で、特に富岸事業の着工や本格化する公共下水道事業活に直接反映する公共事業の拡大で市民化を図る一方、国際レクリエーション、ヘルス、バイオニアタウン事業など、たソフト面も備えた予算編成となつて

とあります。

そこで、鉄骨造り平屋建て382m<sup>2</sup>の実習室を増築することになりました。このほか、時代のニーズに合せてコンピューター科の増設も行い、電算機を扱える人材の育成を図ります。

### 健康づくりの自覚と 予防思想の普及

ヘルスバイオニアタウン事業 1,115万円

相談や講座、講演会、各種スポーツ大会など、市民総ぐるみの幅広い健康新事を展開していくのがヘルスバイオニアタウン事業です。

これまで道内では、和寒町、木古内町、鉄路市、北見市が指定を受け、毎年度700万円を国から補助されます。

当市では、これに市費を加えて事業を進め、61年度では、健康づくりの自覚と予防思想の普及を図るための短期人間ドック助成や健康相談事業、著名人による健康講演会などを開催します。

龜田靈園第2期事業 3,100万円  
60年度の第一期工事に続いて、329区画の造成を行います。

鉄南地区用地買収・整備事業 6,910万円  
幌別鉄南地区鉄道沿の環境整備のため、用地買収と盛土、防護柵など整備事業を行います。

移動図書館車購入事業 740万円  
市立図書館にある巡回文庫用の自動車

その他、市長杯争奪スポーツ大会や健康づくり趣味講座の開催などで事業をもり立てます。

### 理想郷・登別市を目指して 国際観光レクリエーション都市宣言 850万円

登別市は国際的な観光地であり、基幹交通網の整備をはじめ、スポーツ・レクリエーション施設が着実に整備され発展しています。さらに大型プロジェクトが緒についたことから「生活を楽しみ、心身を健やかに・明日への活力を求める、世界の人々が相集う街」理想郷・登別市を目指して「国際観光レクリエーション都市」を宣言しました。

61年度では、登別東インター入口の鬼の像に照明を施設し、歓迎看板の設置などを行います。

### 待望の若草中央公園が 今年度で完成

若草中央公園新設事業 8,850万円

若草町4丁目の新学田通りから若草町2丁目に至る通称、ミニ版大通公園（若草中央公園、延長496メートル、幅21メートル）が61年度で完成します。

60年度では、新学田通りから中央通り（道々上登別宝蘭線）までが芝生広場を中心に、大型遊具、水呑台、トイレなどが整備されました。

61年度では、残る中央通りから若草町2丁目にかけて、テニスコート、ゲートボール場各2面のほか、駐車場、ベンチなどを整備し、若草町地域住民の憩いの場となります。

このほか61年度では、若草町4丁目のびのび公園が2,911万円の事業費で新設されるほか、新川町3丁目の新川公園も525万円で設計委託に入ります。



登別市職業訓練センター

の老朽化に伴い、車両を新たに購入します。

ほっつき稚貝移植放流事業補助金 400万円

大和町地先の禁漁海域に地まき放流します。この他、えぞばか稚貝も120万円の事業費で行います。

公社營畜産基地建設事業 8,926万円

酪農、肉牛などの畜産振興を図るために、市営牧場の建設、草地造成、整備を行います。

ます。

登別温泉観光センター(仮称)設計委託費 1,000万円

登別温泉に多目的集会施設建設のため、設計に入ります。

登別市新総合計画策定経費 360万円

国、道の計画を考慮しながら、21世紀に向けて登別の新計画を策定し、街づくりの指針を示します。

# 61年度予算は 公共



幌別東小屋内体育館

## 良好な住宅地 の形成を

富岸土地区画整理事業 7億円

区画街路の造成と排水・上水道の整備を行い、良好な住宅地の形成を図るのが土地区画整理事業。

富岸地区に隣接する上鶴別地区は、土地区画整理事業の完了に伴う住宅の張り付きにより、急激な人口増がありました。

のことから、教育施設があり、さらに都市計画街路や河川改修などの計画がある富岸地区は、先行的な公共施設の整備と合わせた良好な住宅地の形成が必要とされています。

60年度に計画が立てられ、61年度から工事着工となるこの事業。地域は、富岸、若山、新生町の各一部で総面積49.2ヘクタールです。

## 供用開始に向け 事業が本格化

公共下水道事業 8億 2,353万円

56年度から着工した公共下水道事業は、65年の供用開始に向け61年度からは後半の5カ年整備計画に入ります。

この第一期下水道整備事業の区域は、中央、富士、新川の各町と桜木、縁、若

山町の一部、166ヘクタールで、61年度では管きょ埋設が幹線、枝線合わせて3,850メートル、5億 6,600万円のほか、用地買収、終末処理場の設計委託など合わせて8億 2,353万円の事業費が組まれています。

## カルルス温泉地域 を活性化

カルルス・サン・スポーツランド事業 2,350万円

カルルス温泉地域の活性化を図るため、休養、保養型に加え、スポーツ、レクリエーション型をも備えた国民保養温泉として環境整備、施設の充実を進めます。

57年に廃校となったカルルス小学校跡地の良好な自然景観と地理的条件を最大限に生かした整備を行っているもので、テニスコート、ミニサッカー、ソフトボール、ゲートボールコートのほか、食堂、研修室などを備えた管理棟も建設されます。オープンは、今年8月の予定です。

## ゆったりサイズの 体育館でのびのび

幌別東小屋内体育館改築等事業 2億 2,020万円

同校の体育館は、開校時の昭和45年に

## その他の主な事業

道路橋梁新設事業 3億 4,721万円

若山学園橋（若山町4丁目）、富岸学園橋（富岸町2丁目）の新設のほか、市道である富浦丸内・カルルス・東札内路線の舗装改良を行い、西通り改良事業（中央町3丁目付近）にも取りかかります。

市道舗装排水整備事業 4億円

市道の改良舗装整備49件、延長 6,155メートルを実施するほか、市街地の幹線排水路の整備を行います。

公営住宅建設事業 3億 1,888万円

子歳町1丁目に第2種公営住宅5階建（30戸）を建設します。

川上公園新設事業 3,200万円

幌別ダム下に総面積 9.4ヘクタールの

## 昭和61年度 主な事業の あらまし

3月3日  
年度予算  
一般会  
額では  
比べると  
国の補  
伸び悩み  
区画整理  
など住民  
内経済の  
市宣  
将来に向  
います。

建設されたもの。現在の基準より狭いのはもちろん、床、天井、窓などの傷みが激しいことから改築します。

鉄骨造り平屋建てで、床面積は現在の2倍以上の1,042m<sup>2</sup>。アリーナ、ステージ、器具庫、更衣室、放送室などゆったりとしたサイズになります。

このほか、校舎本体も大規模改修工事に入り、暖房、電気設備、ドアなどの改修が行われ、子供たちは快適な環境の中で学習できる様になります。

また、改修事業2年目の鶴別中学校でも9,050万円の事業費で、校舎内部全般の改修が行われます。

## コンピューターを 扱える人材の育成

職業訓練センター増築事業 6,461万円

登別市職業訓練センターにある登別地方高等職業訓練校は、地域の技能者育成を目的に板金、塗装など4科を設け訓練を行っていますが、各科の訓練が重なる冬場など、実習室は狭くて支障の出るこ

総合公園の建設をすすめていますが、61年度では、駐車場の舗装などを行います。  
河川改修事業 7,240万円

西富岸川、ヤンケシ川、徳消川の3河川を改修します。

鶴別地区老人憩の家新築事業 3,381万円

市内39番目の「老人憩の家」として、鶴別町6丁目に木造モルタル平家建てを建設します。





市民健康

# ふれあう心の合言葉

一、教養をつみ視野を広げて、平和で文化のかおり高いまちをつくりましょう。



第44回国民体育大会をみんなの力で成功させよう

テーマ

# はまなす国体

バトミントン競技会場

登別市

## 胃がん検診

### 早期発見で確かな健康を

次の日程で胃がん検診を実施します。この機会にあなたの健康を確かめてみましょう。

△対象者

満35歳以上の方

△会場・検診日

鶴別公民館：5月12、13、19、20日

△婦人センター：5月14、21日

△受付時間

午前6時30分～9時

△定員

各日とも70名

△検診料金

35歳～39歳まで：三千六百円

△30歳以上の方

40歳～70歳未満：千八百円

△70歳以上の方

65歳以上の寝た

## 3ヶ月検診

△内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

△日程・会場・対象地区

4月24日：鶴別公民館（鶴別地区）

4月25日：労働福祉センター（幌別地区）

△受付時間 正午～午後12時15分

△対象児 61年1月出生児

△用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

△神経細胞種（小児がんの一種）の検査セットを同時に配付します。

△持参するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 59年7月～9月までの出生児

△持参するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 59年4月～6月までの出生児

△持参するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 61年1月出生児

△用意するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 61年1月出生児

△用意するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 61年1月出生児

△用意するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 61年1月出生児

きりの方を含む）、生活保護を受けている方、市民税非課税世帯に属する方（無料）。ただし、登別市国民健康保険に加入している方は、年齢に関係なく千円となります。当日は、保険証を持参してください。

また、市民税非課税世帯に属する方は、受診票を発行しますので、申し出てください。

△申込み・問合せ先 保健衛生課

（℡）2111内線250、2

51)

## 一般健康診断

△内容 保健診療、衛生指導、身体計測、栄養指導、発達相談、ママ素欲布の予約

△持参するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 59年7月～9月までの出生児

△持参するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 59年4月～6月までの出生児

△持参するもの 母子健康手帳、

△現用中の歯ブラシ

△受付時間 午後1時～1時15分

△対象児 61年1月出生児

現在お使いの保険証は、四月三十日で有効期限が切れています。新しい保険証への更新は、次のとおり実施されます。

用できなくなります。新たに保険税を未納にしている場合は、更新時までにお早目に納付手続きをしてください。

また、保険税をもつて手証と印鑑をもつて手渡しをします。更新時までにお早目に納付されるようお願いします。

△問合せ先 課税課健康保険係（℡）2111内線358

### 更新手続きをお忘れなく

### 国民健康保険の保険証

月	日	曜日	時 間	実 施 地 区	実 施 場 所
4	10	木	10時～16時	鶴別町、若草町	鶴別公民館
	11	金			
14	月		10時～16時	登別温泉町、上登別町、中登別町	登別温泉公民館
15	火		11時～15時	カルス町、上登別町、登別温泉町、中登別町	オロフレ莊
	16	水	10時～16時	富浦町、若草町	漁業会館
	17	木	10時～16時	登別東町、登別本町、登別港町	登別公民館
18	金		10時～16時	中登別町、札内町	
21	月		10時～16時	若草町、新生町	千代の台集会所
22	火		10時～16時	若草町、新生町、上鶴別町	優和園
23	水		10時～16時	美園町	ひまわり園
24	木				
25	金		10時～16時		
28	月		10時～16時		
30	水		10時～17時	全地区	市役所第2庁舎（旧中央公民館）

ご協力ください

北海道警察

五月初めに東京都内で東京サミットが開かれます。

警察では、極左暴力集団の「テロ」や「ゲリラ」事件を防止し、不審者を発見するため、全国的に一斉検問や取締りを行います。

あなたの周りに警戒心の強い人、生活が不自然な人はいませんか、あなたが見たり、聞いたりしたことがあります。あなたが見たり、聞いたりしたことがあります。

一〇番または最寄りの交番へご連絡ください。